

Easy iMatrix-511 / Easy iMarix-511 silk

Product No. 892 018: 100 mL (iMatrix-511)
Product No. 892 024: 100 mL (iMatrix-511silk)

Version 003
Store at 2-15 °C
Protect from light

製品概要	ラミニン511タンパク質は、細胞表面のインテグリン $\alpha 6 \beta 1$ と結合することが知られております。本製品は、ラミニン511タンパク質のインテグリン結合部位（E8断片）を高純度に精製した製品です。ES/iPS細胞などを含む様々な細胞の培養時に、基質として使用することができます。本品は、細胞培養時の基質として最適な濃度に調製されており、事前の調製を必要とせず、そのままご使用いただけます。	
内容物	iMatrix-511 (Recombinant Human Laminin-511 E8 Fragment) Recombinant Human Serum Albumin	
濃度	1.6 $\mu\text{g}/\text{mL}$	
保存方法	遮光して2-15 °Cで保存してください。	
活性	インテグリン $\alpha 6 \beta 1$ との結合活性が、解離定数10 nM以下のiMatrix-511を用いて製造しています。	
使用期限	製品は、上記保存方法にて保存し有効期限内にご使用ください。 有効期限は、製造後1年です。有効期限は外箱に記載しております。	
用途	ES/iPS細胞をはじめとする様々な細胞の培養において培養基質として使用できます。	
コーティング濃度	6ウェルプレートの1ウェル（9.6 cm^2 ）に対して、1.5 mLの本製品を使用した場合に、iMatrix-511の濃度が0.25 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ になります。	
使用方法	6ウェルプレートの場合（9.6 cm^2/well ） 1) 本品を1ウェル当たり1.5 mL添加します。 2) 37 °C 1時間または室温 3時間または4 °C一晩の静置を行い、iMatrix-511をコーティングします。 3) コーティング後は、Easy iMatrix-511溶液を廃棄し、乾燥させずに速やかに細胞を播種します。 ※コーティング後の培養器材は、乾燥させないように注意してください。	
使用上の注意	iPS細胞を培養する場合には、播種する細胞の密度は、 $2\sim 3 \times 10^3 \text{ cells}/\text{cm}^2$ が好ましいです。ただし、使用される細胞と培地の種類によって、最適な細胞播種密度は異なりますので、実験条件に合わせて最適化を行ってください。 凍結融解は避けてください。 コーティング後は速やかに使用してください。 本品には、iMatrix-511の安定化と活性増強のために、Recombinant Human Serum Albuminが添加されています。	
注意	本品は医薬品ではありません。 本品は診断薬ではありませんので、本品を使用して、診断を行うことはできません。 誤って吸引したり、目に入った場合には、速やかに洗浄し医師の診察を受けて下さい。	
販売元	株式会社マトリクスーム 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘3番2号 大阪大学蛋白質研究所共同研究拠点棟 電話: 06-6877-0222 FAX: 06-6877-0002 Eメールアドレス: info@matrixome.co.jp URL: http://www.matrixome.co.jp/	製造元 株式会社ニッピ バイオ・ケミカル事業部 〒121-8601 東京都足立区千住緑町1-1-1